



● 本日の例会 2019 年 12 月 6 日 通算 1551 回 本年度 第 21 回 クラブ総会

● 第 1550 回 例会報告 / 2019 年 11 月 22 日

出席報告 : 会員 46 名 / 出席 29 名 欠席 17 名

ゲスト : 三屋裕子(卓話)、ルイーズ

ビジター : 竹中勇一郎(東京 RC)、鈴木真一郎(東京西 RC)、星川知之(川之江 RC)
計 5 名(順不同・敬称略)



11月 15日 11件 20,000 円 累計 565,500 円
多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

土屋東一/藤井宏章/熊本誠司/小原健/岩上義明/石井謙次/西澤民夫/藤井万博/永滋康/張宇/小林博茂

卓話 : 「リーダーシップのヒント」

公益財団法人 日本バスケットボール協会 会長

株式会社サイファ 代表取締役

筑波スポーツ科学研究所 副所長

元バレーボール全日本代表選手 三屋 裕子 氏



紹介者 : 中森会員

日付	開始時間 終了時間	場所	事項	内 容
12月 12日 (木)	18:00 21:00	B1 ギャラクシー ANA インターコンチネンタルホテル東京	夜間 例会	夜間例会・忘年家族会 バルーンアート
12月 20日	12:30 13:30	37F アリエス ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話 : アドベンチャーランナー 北田 雄夫 氏
12月 27日	休 会			
1月 3日	休 会			
1月 7日	18:30	MIXX & BAR(36F) ANA インターコンチネンタルホテル東京	火曜会	テーマ : 「未定」
1月 10日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話 : 「相撲甚句に触れ太鼓」 元三役格呼び出し 琴二 氏
1月 17日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話 : 職業奉仕関係
1月 24日	12:30 14:30	赤坂インターナシティ	移 動 例 会	第4回 クラブ協議会
1月 31日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話 : 「2020 後の日本の地価はどうなるか」 株式会社セルゲートジャパン 代表取締役 関野 雄志 氏
2月 7日	12:30 13:30	37F アリエス ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話 : 中小企業診断士 小松 豊 氏

私のプロフィールです。

●1955年4月24日生れ ひつじ、おうし座、A型、子供は3人、孫が1人います。

●出身は島根県松江市（高校まで）で、松江市観光大使をしています。高校卒業後、大阪府吹田市に14年間いました。

●大阪大学人間科学部を卒業しました。現在、40年振りに学生に戻り、名古屋商科大学院のMBAコースに在学中です。

●職歴は1984年、新卒でゲーム会社ナムコにゲーム企画者として入社しました。その後バンダイと統合してバンダイナムコになり、61歳で定年退職しました。

●現在はゲーム会社とは全く畠違いのM&Aコンサル会社で常勤監査役をしています。大学院とあわせると、週7日間休みなく活動しています。60歳過ぎての勤労学生です。

出自と幼少の環境

私の父は、1922年1月生まれ、既に他界しています。父は6人兄弟の一番上で、長兄としての自覚からかとても厳格でした。読書家・勉強好きで歴史や文学に明るい人でした。今回、父の年譜を追ってみると、1浪の末、東京帝国大学に入学したものの、21歳の1943年10月に学徒動員で召集されています。学問好きの父がやっと憧れの大学に入学したのに、1年程度で戦地に駆り出され2度と大学に戻ることはできなかったのです。

私の母は、1927年8月生まれ 9人兄弟の4番目。現在92歳で松江で元気に暮らしています。

母親は1945年（昭和20年）6月、17歳の時に岡山で大空襲に遭遇しています。焼夷弾の雨の中、命からがら、弟・妹を連れて避難したと、戦争の体験を語ってくれます。

兄弟は男3人で、私は末っ子です。

長兄は7歳年上です。出雲大社にある老舗旅館「竹野屋」は長兄の妻の実家です。

次兄の哲朗は4歳年上です。東洋陶磁美術館の館長をしています。台湾の故宮博物館と姉妹提携を結び、収蔵物の交換展示ができるように計らっています。

記憶を振り返る

私は先天性の疾患で、腸の一部分が機能せず、5歳時、機能していない大腸を30cmするという手術を受けました。当時は手術の成功率は低く死線をさまよう経験をしました。幼稚園時代は入退院を繰り返す療養生活でした。両親にとっては、私が生きてさえいれば良いという想いだったのでしょう。私は兄二人と違って、自由奔放に育てられました。

中学・高校時代

小学校に入学当初、私は遅刻ばかりしていました。担任の先生が「敬司君は何時に起床する習慣にしているのか？」と尋ねたところ、母は「敬司が起きた時が起床時間です」と毅然として言った為に、担任の先生は二の句が継げなかったそうです。一方、我ながらよく頑張ったなと思うのは新聞配達を中学・高校の6年間したこと

す。新聞配達をしたお陰で、早起きする規則正しい生活になり、病弱だった体も足腰・筋力・持久力が鍛えられ、激しい雨や凍り付く雪の中でも仕事をしなければならない環境下で精神的にも成長できたと思います。

大学時代

大学時代の一番の出来事は大学2年生の時に結婚し子供が生まれたことです。今と同じ勤労学生です。生活の為に学業よりもアルバイトが優先でした。大学には7年滞在し、卒業時には息子は3歳になっていました。

結びにかえて

人間の活動や行動の原理について、私が興味を持った内容を2つ程紹介します。

一つ目は「笑顔の不思議」です。笑顔を見た時、なぜ笑顔だと解るのでしょうか。眉毛を動かす顔の表情は人間だけに備わったコミュニケーション手段だそうです。笑顔は大切です。人間は共存しないと生きられない存在だということを赤ちゃんの笑顔が教えてくれます。

二つ目は「自分の誤りは自分では判らない」という意味の数学の定理です（ゲーデルの不完全性定理）。数学の世界の厳密な定理ですが、私は社会でも同様だと解釈しました。自分の間違いは自分の中に閉じこもっていては判らないから視野を広げる必要があると。個人だけでなく組織にも当てはまり、会社の中にいると会社の間違いが判らない、日本の中にいると日本の間違いが判らない、などです。だから視野を広げる必要があると思っています。

私にとってロータリークラブは

笑顔と共感を得られるもの、私の既成概念を変え物の見方を変えるもの、新しいネットワークを築けるもの、つまり視野を広げるものです。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



松江観光大使をやっています



松江市は夕日を観光資源にしています

12月 ピアノ演奏曲

クリスマス特集

「ホワイトクリスマス」「神の御子は」「オー・ホーリー・ナイト」「牧人ひつじを」「もろびとこそりて」「ジングル・ベル」

他

ピアニスト 泉 晶子 氏